

2012年1月～2018年12月に当院で骨転移に対するリハビリテーションを受診された患者様へ

研究：「骨転移患者のリハビリテーション効果」の実施について

1. 本研究の意義および目的

骨転移患者においては、疼痛や身体機能低下によって、ADL(日常生活動作)・QOL(生活の質)などの低下が予想されます。骨転移患者に対して効果的なリハビリテーションが明らかとなれば、状態に応じたリハビリテーションが提供可能となり、ADL・QOL向上に役立ちます。今回、骨転移患者におけるADL・QOLに影響を及ぼす要因の調査およびリハビリテーション効果について検討します。

2. 研究の方法

当院において、身体機能・ADL・QOL・栄養状態などの情報を集積し解析します。診療情報は診療録より収集します。取得した診療情報には番号を付与し匿名化いたします。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は施錠可能な保管庫で保存し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2020年12月末、予定症例数は四国がんセンターで400例です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法(および結果)についての資料を見ることができます。希望される場合は、研究責任者にお伝えください。

7. 個人情報に関して

個人のプライバシーに関する情報は守られ、個人が特定されることはありません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 四国がんセンター

【研究責任者】 明崎禎輝

10. 連絡先

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲 160

四国がんセンター

明崎禎輝

TEL: 089-999-1111

FAX: 089-999-1100

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい